



# いばらき県議会だより

No.233

〈県議会HP〉  
https://www.pref.ibaraki.jp/gikai/  
本会議および予算特別  
委員会を生中継および  
録画中継しています



〈いばキラTV〉  
https://ibakira.tv  
本会議および予算特別  
委員会を生中継および  
録画中継しています



〈県議会公式X〉  
https://x.com/ibarakiken  
gikai



〈県公式LINE〉  
https://lin.ee/6xV7Z1Q



発行：茨城県議会  
編集：県議会情報委員会  
〒310-8555 水戸市笠原町978番6  
Tel.029-301-5646 [年4回発行]  
※音声版・点字版の県議会だよりも  
作成しています



## 日本初の“泊まれる体験型植物園”



THE BOTANICAL RESORT

RINNE 林音

ザ ボタニカルリゾート リンネ

2025.11/29 リニューアルオープン

### 泊まる



植物園と調和したグランピング施設  
やコテージ 計45棟を新設

### 癒される



自家栽培のハーブを使ったハーブ湯  
やハーバルサウナなど

11月29日、茨城県植物園が、日本初の泊まれる体験型植物園、THE BOTANICAL RESORT 林音(ザ ボタニカル リゾート リンネ)としてリニューアルオープンしました。

園内では、約240種類、約23,000本の植物を鑑賞できる熱帯植物館などのほか、「泊まる」、「癒される」、「食べる」、「遊ぶ」といった特別な体験を楽しめます。

茨城の魅力を五感で体感できる「林音(リンネ)」にぜひお出かけください。  
※写真はイメージを含みます。

### 食べる

バナナをコンセプトにしたカフェス  
ペースでスイーツやドリンクを提供

### 遊ぶ

県民の森の自然を生かしたツリーア  
ドベンチャーなど3種のアクティビ  
ティを新設

### バナラドーム (熱帯植物館)

夜間は幻想的なライト  
アップが楽しめます  
(宿泊者限定)。



### THE BOTANICAL RESORT 林音(リンネ)

住所:那珂市戸4369-1  
入園無料(施設ごとに利用料がかかります)  
お問い合わせ:029-212-6661



### 第3回定例会の概要

令和7年第3回定例会は、9月30日から10月24日まで25日間の会期で開かれました。

議案は、議員から、地域医療を守るために医療機関及び看護職員等の処遇改善に向けた財政支援を求める意見書など、知事から、令和7年度茨城県一般会計補正予算などが提出されました。

代表質問は、今後の県政運営、県民に寄り添い実感のある県民幸福の実現、産業発展のための施策展開などの項目について行われました。

(2、3面)

一般質問は、中小企業の賃上げと生産性向上、教職員によるわいせつ事案や、児童虐待の現状認識とその対策などの項目について行われました。(4、5、6面)

各常任委員会では、付託議案の審査、その他所管事務に関する質問を行い、霞ヶ浦導水の通水予定、いばらき業務改善奨励金の現状と狙いなどを議論しました。(7面)

予算特別委員会では、主任介護支援専門員の法定研修の要件緩和、Okukuni「X」や常陸国ロングトレイルなどの今後の展開などの質疑を行いました。(8面)

未来を拓く新たな茨城づくり調査特別委員会では、これまでの調査・検討を踏まえ、中間提言を取りまとめました。(3面)

決算特別委員会では、令和6年度決算の総括的な概要などについて、執行部から説明を聴取しました。

(6面)

今回の定例会では、予算、条例、人事、報告、意見書、請願などの30件の議案などが可決、同意、承認、採択されました。



代表質問※(要旨)

議員 大井川県政は3期目に入り、県の発展に向けて県民の期待はこれまで以上に高まっている。知事選の結果をどう受け止めているのか。また、マニフェストの実現に向けてどのように取り組んでいくのか。

知事 全国に誇る企業誘致実績や一人当たりの県民所得の向上などの成果とともに、医療や教育などさまざまな分野で変化してきたことを県民が強く実感したこと、多くの理解と支援を頂けた。困難な課題に対しても果敢に挑戦するという初心を貫き、県民の皆さまと共に、本県の潜在能力をさらに引き出し、「活力があり、県民が日本一幸せな県」を実現できるよう全身全霊で取り組んでいく。



白田 信夫 議員  
いばらき自民党  
桜川市選出

今後の県政運営

● 質問者

10月3日(金)  
白田 信夫 (いばらき自民党)

10月6日(月)  
八島 功男 (公明党)

二川 英俊 (国民民主党)

こちらから録画映像でご覧になれます。▶

第3回定例会の主な日程

令和7年第3回定例会は、以下の会期日程で開催されました。

- 9月30日(火) 本 会 議 (開会、知事提出議案説明)
- 10月3日(金) 本 会 議 (代表質問・質疑)
- 10月7日(火) 本 会 議 (一般質問・質疑)
- 10月15日(水) 常 任 委 員 会
- 10月17日(金) 本 会 議 (予算関係議案常任委員長報告等)
- 10月20日(月) 決算特別委員会
- 10月21日(火) 予算特別委員会
- 10月22日(水) 未来を拓く新たな茨城づくり調査特別委員会
- 10月24日(金) 本 会 議 (委員長報告、採決、閉会)

ヤードの規制

議員 茨城県再生資源物の屋外保管の適正化に関する条例施行後1年半が経過した。現状や課題、効果をどう捉えているのか。

知事 条例施行前から事業を行っている事業者に対しては、

本年5月末までに全ての事業場445カ所に立入検査を行い、保管状況や囲いの可視化などの基準に適合しない事業者が改善を指導している。囲いの可視化は、施行直後は約8割が未対応であったが、8月末までに全体の約半数の事業者が完了した。指導に従わない事業者には行政処分など厳正に対処していく。

過積載を含めた不正改造車両の取締りの強化

議員 過積載を含む不正改造車両の取り締まりの強化により県外からの不適正残土の持ち込みの解消になると考えるが所見は。

警察本部長 県民から寄せられる過積載や不正改造車両に関する情報などを分析した上で、違反車両の通行が予想される主要幹線道路を中心に、関係機関と

原子力災害時における広域避難計画の策定

議員 全国のうち避難計画が未策定の原発立地地域は東海第二周辺の6市町だけである。計画の早期策定に向けた支援を進める必要があると考えるが所見は。

知事 避難先の確保や市町村だけでは解決が困難な広域的な問題を含む計画の実効性が課題と考える。

避難先の確保は、これまで県内での県有施設や市町村の公的施設の追加などにより、避難対象人数約92万人に対し当初不足が見込まれた22・5万人分が約7・2万人分まで縮減してきた。また、専門家による検証委員会等で住民が安全かつ円滑に避難できるか検証することにより

県立高校改革の実績と評価

議員 水戸一高や土浦一高などステータスの高い学校の公募校長を継続することで、プロパー教員のモチベーションの低下を心配している。県立高校改革の実績をどう評価しているか。



令和8年度採用の公募校長の対象となる水戸第一高等学校

今定例会で可決された議案など

議員提出

意見書

○地域医療を守るために医療機関及び看護職員等の処遇改善に向けた財政支援を求める意見書

○教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度堅持を求める意見書

○防災・減災、国土強靱化対策の更なる推進を求める意見書

知事提出

令和7年度補正予算関係

○一般会計補正予算

○鹿島臨海工業地帯造成事業特別会計補正予算

◆条例の一部改正

○茨城県公告式条例の一部を改正する条例

○茨城県地方港湾審議会条例の一部を改正する条例

◆人事

○公安委員会委員の任命について

◆報告

○地方自治法第179条第1項の規定に基づく専決処分について

◆その他

○県有財産の取得について

請 願

○教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願

意見書および請願の全文は県議会ホームページでご覧になれます。



教育長 公募校長については今年度で7回目を迎え、中高一貫教育校の水戸一高など10校を対象としており、今年度は、教員出身の校長2名と民間や行政出身の校長7名、副校長1名が活力と魅力ある学校づくりを推進している。教員出身は地域との連携で、民間や行政出身は国内

ルな視点での連携で、それぞれ探究的な学びを推進するなど力を発揮している。このようにそれぞれの強みを発揮し、切磋琢磨できる環境を生み出していることは成果の一つと捉えている。(ほかに、部活動の地域展開、中小企業・小規模事業者への支援なども質問)



## 代表質問(要旨)

人口減少を乗り越えるために挑戦する県政運営の方針と展開



八島 功男 議員

公明党  
土浦市選出



議員 知事が示された3期目の県政運営の方針「新しい茨城づくり政策ビジョン3・0」から、最も重要な政策課題である人口減少対策についての現状認識と、実現力ある骨太の方針は。

知事 自然増は国において抜本的な対策を行う必要があると考える。県はこれまで以上に社会増の拡大を重視し、県内の地域資源などを最大限に生かした差別化を図り、国内外から選ばれる県づくりに取り組んでいく。

県民に寄り添い実感のある県民幸福の実現

議員 県民に寄り添い、一人一人の実感ある幸福の実現が必要である新しい県総合計画において、いばらき幸福度指標を磨き上げ、県民幸福度ナンバーワンを目指すための取り組みは。

知事 県民が挑戦を続けられる環境の整備・充実状況を、不断の見直しを行いながら客観的データに基づき把握し、県民をはじめ多様な人々の意見を大切にしながら、「新しい茨城」づくりに取り組んでいく。

美しい地域共生社会を目指す外国人政策

議員 本県の地場産業を支える外国人材は、私たちに身近なエッセンシャルワーカーであり、いなくてはならない隣人である。互いに人として尊重し、多様性

を認め合い、安心と安全の社会を共に作り上げることが重要だと考えるが、所見は。

知事 母語による相談・支援体制の充実や県民向け出前講座、企業へのコンサルティングを通じて、外国人材が地域の一員として定着し、誰もが活躍できる共生社会の実現に取り組む。

戦略的企業誘致のための産業用地、豊富な水、安定した電力の確保

議員 半導体などの成長産業の誘致のため、都市計画の手法を活用した土地利用と潤沢な水の安定供給、送電網の整備などによる大規模な電力の確保が必要だと考えるが、今後の方針は。

知事 市町村の産業用地開発を支援するとともに、成長産業などの誘致に対応できるよう、県施行の工業団地の開発を推進している。開発に当たり、安定的な工業用水の供給に努めるとともに、企業の操業計画に沿って必要な電力を供給できるよう電力事業者に働き掛けるなど、優良企業の誘致に全力で取り組む(ほかに、こどもの最善の利益を優先する茨城県こども計画の推進、本県産主食用米の安定供給向上と持続可能な茨城農業のビジョンなども質問)

新しい茨城づくり政策ビジョン3.0「NEXTチャレンジャー」			
分野	政策	施策	効果
人口減少対策	人口減少を乗り越えるための挑戦	人口減少を乗り越えるための挑戦	人口減少を乗り越えるための挑戦
産業振興	戦略的企業誘致のための産業用地、豊富な水、安定した電力の確保	戦略的企業誘致のための産業用地、豊富な水、安定した電力の確保	戦略的企業誘致のための産業用地、豊富な水、安定した電力の確保
地域振興	美しい地域共生社会を目指す外国人政策	美しい地域共生社会を目指す外国人政策	美しい地域共生社会を目指す外国人政策
教育・子育て	こどもの最善の利益を優先する茨城県こども計画	こどもの最善の利益を優先する茨城県こども計画	こどもの最善の利益を優先する茨城県こども計画
健康・福祉	健康・福祉の充実	健康・福祉の充実	健康・福祉の充実
環境・防災	環境・防災の充実	環境・防災の充実	環境・防災の充実

新しい茨城づくり政策ビジョン3.0「NEXTチャレンジャー」

県民の所得を増やす政策



二川 英俊 議員

国民民主党  
ひたちなか市選出



議員 最低賃金が過去最高となり、中小企業の運営に与える影響は大きい。企業の支援にどのように取り組んでいくのか。また、最低賃金や経済の状況を踏まえ、所得税の基礎控除の引き上げなど、さらなる所得減税が必要と考えるが、所見は。

知事 今定例会の補正予算で、最低賃金の地方上乗せ分の一部補助を計上するなど、企業をしつかりと支援していく。また、さらなる所得減税により、本県財政への影響が懸念される。国には適切な財源保障を前提に、丁寧に議論を進めてほしい。

医師の確保と地域偏在の解消

議員 地域医療を維持するために、医師の確保および地域偏在対策にどのように取り組むのか。

知事 さまざまな施策に取り組んだ結果、県全体では2036年に必要医師数を充足する見込みである。地域枠などの修学資金貸与制度により地域偏在の是正を図りつつ、地域における各医療機関の役割分担を踏まえた上で、国の支援策も活用しながら、各地域に必要な医師を適切に配置していく。

外国人材活用

議員 県内の外国人雇用は増加傾向にあり、今後も外国人材の

活用を積極的に進める必要がある。外国人が地域住民と共生を図るために行政が果たす役割は大きいと考えるが、所見は。

知事 経済成長の持続のためには、外国人材の受け入れが不可欠であり、外国人を日本人と同様の処遇、労働環境で活用する環境づくりに取り組む。また、多様性を認め合う共生社会の実現に向け、施策の充実を図る。

産業発展のための施策展開

議員 本県産業の発展のため、エネルギー政策をどう進めるのか。また、企業誘致の取り組みにより、県外企業立地件数8年連続全国トップなどが取り上げられる中、地域における雇用や県財政への寄与の状況は。

知事 脱炭素効果の高い既存発電手段の有効活用および水素・アンモニアなどの新たなクリーンエネルギーの確保により、安定供給と脱炭素化の両立を図る。また、企業誘致の成果として、雇用の創出や税収の増加がみられる。新たな県施行の産業用地開発は、事業採算性などを見極めながら慎重に検討していく。(ほかに、県庁における業務改革と県内企業への支援、持続可能な農業の実現なども質問)



県が拡張を進める常陸那珂工業団地

## 未来を拓く新たな茨城づくり調査特別委員会が調査報告(中間提言)を行いました

本委員会(半村登委員長)は、今年3月の設置以降これまで8回開催し、人口減少対策としての側面が大きい事項を中心に、集中的に審議を進めてまいりました。

この間、県執行部からの説明聴取はもとより、各分野の第一線で活躍する有識者をお招きして意見をいただきながら、県民が未来に向かって希望が持てるような提言をすべく、活発な議論を行ってきました。

中間提言では、現総合計画の4つのチャレンジである「新しい豊かさ」「新しい安心安全」「新しい人財育成」「新しい夢・希望」および行財政運営に関する「挑戦する県庁」への変革」について、それぞれ重点的に取り組むべき事項を取りまとめました。

そして、新たな総合計画の策定に当たっては、本提言の趣旨を十分に尊重するとともに、政策・施策はもとより予算や組織体制などに適宜的確に反映し、効果ある施策を速やかに実施するよう知事に求めました。

今後とも最終提言の取りまとめに向け、引き続き精力的に調査検討を続けてまいります。



調査報告(中間提言)を行う半村登委員長

## 議会人事

### ◆新議員

令和7年9月7日の茨城県議会議員補欠選挙(取手市選挙区、牛久市選挙区、つくば市選挙区、筑西市選挙区)において、岩澤信議員、諸橋太一郎議員、塚本一也議員、稲川新二議員が当選され、同月10日付で、岩澤信議員は防災環境産業委員会の委員に、諸橋太一郎議員は文教警察委員会の委員に、塚本一也議員は保健福祉医療委員会の委員に、稲川新二議員は総務企画委員会の委員に選任されました。



一般質問(要旨)

質問者

10月7日(火)

川口 政弥 議員  
いばらき自民党  
取手市選出

山本 美和 議員  
公明党  
茨城無所属・政策の会

瀬谷 幸伸 議員  
いばらき自民党

小松崎 敏紀 議員  
いばらき自民党

10月8日(水)

水柿 一俊 議員  
いばらき自民党

高安 博明 議員  
国民民主党

磯崎 達也 議員  
いばらき自民党

10月9日(木)

豊田 茂 議員  
いばらき自民党

中山 一生 議員  
茨城無所属・政策の会

小松崎 敏紀 議員  
いばらき自民党

小松崎 敏紀 議員  
いばらき自民党

10月10日(金)

小泉 周司 議員  
いばらき自民党

森田 卓歩 議員  
いばらき自民党

下路 健次郎 議員  
いばらき自民党



こちらから録画映像でご覧になれます。▶



川口 政弥 議員  
いばらき自民党  
取手市選出

中小企業における賃上げと生産性向上

議員 中小企業の労働生産性※1が大企業の3分の1にとどまる中、本県産業の成長のためには、中小企業の賃上げと生産性向上が必要不可欠である。どう取り組むのか。産業戦略部長 企業が果敢に設備投資できるよう「イノベーション投資促進融資」を開始したほか、ビジネスプラン構築や海外販路開拓などを支援している。また、生産性向上を担う人材の育成・確保のためリスクリングの推進を図り、本県産業の発展に取り組む。

議員 自治体間で単身高齢者への終活支援体制に格差があることが課題である。県として、市町村を人的・財政的に支援し、県独自の包括的な終活支援モデルの構築を検討すべきと考えるが、所見は。保健医療部長 国において、今後、単身高齢者への具体的な支援策が取りまとめられる見込みである。県は、国の動向を注視しつつ、関係部局と連携し、終活支援に取り組む市町村を後押ししていく。



企業規模別の労働生産性の推移  
(2025年度版中小企業白書を加工)

単身高齢者の終活支援

議員 自立体間で単身高齢者への終活支援体制に格差があることが課題である。県として、市町村を人的・財政的に支援し、県独自の包括的な終活支援モデルの構築を検討すべきと考えるが、所見は。保健医療部長 国において、今後、単身高齢者への具体的な支援策が取りまとめられる見込みである。県は、国の動向を注視しつつ、関係部局と連携し、終活支援に取り組む市町村を後押ししていく。



山本 美和 議員  
公明党  
つくば市選出

教職員によるわいせつ事案や、児童虐待の現状認識とその対策

議員 教職員によるわいせつ事案への認識と、虐待の早期発見や「自分を守る力」を育む教育への取り組みは。子どもへの暴力防止「CAPプログラム※2」導入の所感。教育長 教職員によるわいせつ事案は極めて憂慮すべき事態であり、未然防止策を講じている。研修を通じて虐待の早期発見と通報を徹底するほか、「生命の安全教育※3」で自分や相手を尊重する態度を教育する。CAPプログラムの有効性を研究し、同教育に活用する。

プレコンセプションケア推進5か年計画※4に基づく本県の取組

議員 今年5月、こども家庭庁がプレコンセプションケア推進5か年計画を初めて策定したが、同計画に基づく本県の取り組みは。福祉部長 大学などの20歳代前後の男女や小・中・高校生を対象に出前講座などを実施している。また、昨年度に「いばらき婚活・不妊オンライン相談」を開始したほか、婦人科受診の心理的抵抗感を下げる工夫や情報発信、冊子による啓発活動などに努めている。

（ほかに、ひきこもり支援、リトルベビー支援なども質問）

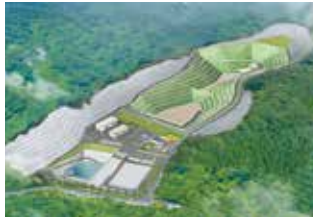


プレコンセプションケアの内容も分かる「女性からのサポートブック」

日立市における国道6号の渋滞緩和策

議員 日立市の国道6号の渋滞緩和に向けた取り組み状況および多賀地区における常磐道スマートIC新設の可能性は。土木部長 国では、日立バイパスや大和田拡幅の整備、仮称桜川道路の具体化に向けた検討が進められている。スマートICの設置は、費用が多額となるなどの課題があると日立市から聞いているが、相談があれば助言などを行いたい。

議員 日立市諏訪町の新産業廃棄物最終処分場「エコみらいひたち」の整備に伴う地域振興事業について、環境学習施設の整備を含む、取り組み状況と今後の進め方は。県民生活環境部長 県道の交通安全対策や鮎川の環境整備など地域の生活環境向上に資する事業を優先して取り組んでいる。環境学習施設は、最新のデジタル技術を活用した展示や地域と連携した体験学習の実施などを検討し、地域の皆さまにも喜ばれる施設を目指す。



エコみらいひたち 完成予定図



水柿 一俊 議員  
いばらき自民党  
筑西市選出

金属盗対策

議員 金属盗対策として、緊急配備支援システム活用の効果と今後の対策にどのように取り組むのか。警察本部長 緊急配備支援システムでの検知を端緒に、令和6年中は多数の被疑者を検挙し、車両も数多く押収する成果を挙げている。引き続き、「盗ませない環境」や「盗んでも売れない環境」の構築を図るとともに、各種検挙活動を推進し、抑止対策と検挙対策の両面にわたる取り組みを推進することに より、金属盗の抑止に努めていく。

県管理道路の舗装修繕

議員 県管理道路の舗装修繕について、地域特性を考慮した修繕方法など、どのように取り組むのか。土木部長 舗装維持修繕計画に基づく修繕を着実に行うとともに、地域特性に応じて、最適な工法と柔軟性、強靱性を兼ね備えた新しいアスファルト材などを採用し、舗装の適切な維持管理とライフサイクルコストの削減に努めていく。（ほかに、少子化と私立高校授業料の実質無償化による公立高校への影響、がん検診の受診率向上なども質問）



道路の舗装修繕の様子

県議会の録画中継をご覧いただけます

県議会のホームページでは、これまでに開催された各定例会における、知事の提出議案説明、各会派議員の代表質問、一般質問、予算特別委員会質疑などの様子を録画中継でご覧いただくことができます。議会活動を文字で読むだけでなく、議場における各議員の質問・質疑の様子を映像と音声で見聞きすることで、県政で議論されている問題などを、より身近に感じていただけます。



※こちらから県議会の録画中継をご覧いただくことができます。





## 一般質問(要旨)

### カーボンニュートラルの実現に向けたエネルギー政策



高安 博明 議員  
国民民主党  
日立市選出

議員 国の第7次エネルギー基本計画に基づくエネルギーミックスをどのように受け止め、また、カーボンニュートラルの実現に向けた政策をどのように展開するのか。

知事 国の方針を踏まえ、本県の実情に応じた施策を講じていく。また、国に高温ガス炉実証炉の設置などを働き掛けるほか、本県独自の支援策を活用し企業のエネルギー構造転換を後押しすることで、カーボンニュートラルの実現に向けたエネルギー施策を推進する。



磯崎 達也 議員  
いばらき自民党  
ひたちなか市選出

### 県内に誘致した優良企業等における県民雇用の促進

議員 県外からの人口流入は人口減少対策として重要である。全国ナンバワンの実績を上げている県外優良企業の誘致において、立地後の県民雇用人数に応じたインセンティブなども検討の上、県民雇用の促進に、どうつなげるのか。

知事 本県出身者が、県外から戻ってくる循環を生み出すことは意義がある。県内に進出した企業の雇用支援については、例えば、プラスアルファの制度を創設するなどの工夫について検討していく。

### 地域医療の中核となる医療機関への支援

議員 地域医療の中核を担う医療機関への支援について、国への要望も含め、どう取り組むのか。

保健医療部長 医師少数区域内の救命救急センターを運営する医療機関への緊急支援を補正予算案に計上したほか、知事会を通じ物価高が適時適切に反映される仕組みを診療報酬制度に導入することを国へ要望し、安心して適切な医療を受けられる体制を整備していく。



県北地域で中核医療を担う日立総合病院  
(日立総合病院提供)

### ひたちなか市内における交通渋滞対策

議員 ひたちなか市内における交通渋滞対策として整備推進が求められている水戸勝田環状道路の未整備区間の整備を、市にしっかりと働き掛けてほしいが、意気込みは。

土木部長 水戸勝田環状道路の当該区間の整備については、まず、市が道路構造の検討、それに必要な調査設計を行う必要がある。県としては、市が、調査設計に速やかに着手できるよう支援したい。

(ほかに、生成AIデータセンター※1の誘致、5歳児健診の推進・普及に向けた取組など、質問)



突如分断されている水戸勝田環状道路のさらなる整備推進を(ひたちなか市中根地区内)

### 県の流域治水対策の取組



豊田 茂 議員  
いばらき自民党  
高萩市・北茨城市選出

議員 県民の生活と命を守り、「活力があり県民が日本一幸せな県」づくりの基盤となる治水対策について、知事はどのような基本姿勢で臨んでいくのか。

知事 頻発化・激甚化する豪雨災害に対し、流域治水対策の推進は大変重要である。堤防整備や田んぼダムの整備、避難訓練の実施など、ハード・ソフトの両面からあらゆる対策を講じ、県民の安心・安全を守るため、実効性のある防災・減災対策に全力で取り組む。



中山 一生 議員  
茨城無所属・政策の会  
龍ヶ崎市・利根町選出

### 地球温暖化対策

議員 世界では、地球温暖化問題に対し懐疑的・否定的な声もあるが、どう受け止めているのか。また、再生可能エネルギーなどへのエネルギー転換についての所見は。

知事 温室効果ガスの排出が地球温暖化の原因となっていることは疑いようがなく、地球温暖化対策の推進は喫緊の課題と認識している。企業のエネルギー転換の取り組みを強力に後押しするとともに、地域と共生した再生可能エネルギーの導入を促進していく。

### 林業分野におけるカーボンニュートラルの実現に向けた取組

議員 カーボンニュートラルの実現に向けては、CO<sub>2</sub>吸収量が多い若い森林の造成に向けた主伐※2・再造林の加速化が重要である。県はどのように取り組みを進めるのか。

農林水産部長 生産性・収益性の向上を図りながら持続可能な林業を目指し、主伐・再造林による適切な更新を促進してカーボンニュートラルの実現に寄与していく。



本県産木材を活用した都内の木造混構造ビル施工事例

### 投票率の低い現状に対する知事の受け止めと県政への関心を高める取組

議員 今年の参議院議員選挙および知事選挙を経て、投票率の現状をどう評価し、県政への関心を高めるために何ができるのか。

知事 低い投票率が続けば、有権者全体の意思が政治に反映されにくい、民主主義にとって非常に危険な状態が起り得ると懸念している。県政への関心を持つてもらうため、SNSの活用など、若い世代への情報発信を強化していく。

(ほかに、知事の政治姿勢、グローバル化を巡る環境変化と多文化共生の推進など、質問)



参議院議員選挙時の啓発活動

## 令和7年度9月補正予算案が可決

物価高が続く状況下において、中小企業などの賃上げ支援や子育て世帯の家計負担軽減のための支援など、経済の好循環に向けて引き続き取り組むとともに、安心・安全につながる生活基盤の充実に向け、医療・介護分野における体制確保への支援や、防災・減災対策など、必要な予算を計上した9月補正予算案(約134億6900万円)が可決されました。

### 9月補正予算案に計上された主な事業

- 1 経済の好循環に向けた取組 (44億2700万円)
  - 新 地域賃上げ加算支援事業(最低賃金引き上げの地方上乗せ分に対する中小企業などへの支援)
  - 新 学校給食等物価高騰対策事業(県立学校の給食費の負担増相当分への支援)
  - 新 私立学校物価高騰対策支援事業(私立学校の給食費の負担増相当分への支援)
  - 新 幼児教育・保育施設物価高騰対策支援事業(私立保育所などの食料料費の負担増相当分への支援)
  - 新 高校生等臨時支援事業(所得制限の撤廃により新たに高校授業料無償化の対象となる生徒に対する支援)
- 2 安心・安全につながる生活基盤の充実(86億2300万円)
  - 新 地域救急医療確保緊急支援事業(物価高などにより厳しい経営環境にある医師少数区域内の三次救急医療機関への支援)
  - 新 訪問介護事業所緊急支援事業(介護報酬改定などにより厳しい経営環境にある訪問介護事業所への支援)
  - 新 医療施設等経営強化緊急支援事業(病床数適正化により経営体制見直しを図る医療機関への支援)
  - ・ 国補公共事業(国内示増に伴う安心・安全につながる緊急対策および東関東自動車道水戸線の整備など)
- 3 県政の課題等への対応 (4億1900万円)
  - ・ 植物園等魅力向上対策事業(茨城県植物園のリニューアルに係る工事契約の変更に伴う経費の増など)

ことば ※1【生成AIデータセンター】…学習した膨大なデータを基に、テキスト、画像、音声など、さまざまなコンテンツを新たに作り出す技術である「生成AI」に対応したデータセンターのこと。生成AIデータセンターは、従来のデータセンターよりもさらに高性能な計算能力が求められる。  
※2【主伐】…木材の収穫と森林の更新を主な目的として成熟した木を伐採すること。



## 一般質問(要旨)



小松崎 敏紀 議員

いばらき 自民党  
鹿嶋市 選出

## 高温ガス炉の実証炉の誘致

議員 脱炭素社会において、低コストかつクリーンなエネルギーが求められている中、高温ガス炉の開発・建設の必要性は高まっています。高温ガス炉の可能性と県での将来展望について、所見は。

知事 高温ガス炉は、準国産のカーボンフリーの水素をコスト競争力のある価格で供給することが期待され、新たな水素供給の拠点を形成する可能性がある。実証炉の誘致を目指し、関係者との連携を図りながら全力で取り組んでいく。

## 発達障害のある生徒の教育環境の充実

議員 一人一人の生徒に適切な教育的支援を行うためには、教員の専門性向上や指導時の支援体制構築、人権教育の充実などが必要と考えるが、どう取り組むのか。

教育長 特別支援学校のセンター的機能の活用促進のほか、専門的な研修の実施、学校間の人事交流を進める。また、多様性を認める社会実現に向けた学習などを通して、教育環境の充実に取り組む。

(ほかに、カシマサッカースタジアムと周辺環境の整備、県立高校の魅力ある学校づくりなども質問)

大洗町にある高温工学試験研究炉(HTTR)  
(日本原子力研究開発機構提供)

森田 卓歩 議員

いばらき 自民党  
古河市 選出

## 人口減少対策を踏まえた地方創生

議員 人口減少が進む中、地方創生に当たり、若い世代や女性などの意見を集約し県の在り方を検討の上、市町村の主體的な動きを促進することが重要である。地方創生に今後どう取り組むのか。

知事 国内外から選ばれる県づくりのため徹底した差別化と高付加価値化を図り、市町村に対しても広域的な立場から助言などを行い地方創生につなげる。新しい県総合計画について、若い世代や女性など幅広く意見を伺い策定する。

## 中小・小規模事業者支援モデルの構築

議員 県内中小・小規模事業者の活性化を図るため、各支援機関の得意分野を生かせる連携支援体制の構築が急務と考えるが、所見は。

産業戦略部長 支援機関の連携は、「事業者支援のあり方に関する協議会」などで議論しており、重要だと認識している。次期「茨城県産業活性化に関する指針」に、支援機関の連携を新たに盛り込み、得意分野や役割などを整理しつつ、効果的な支援体制の構築を進める。

(ほかに、県西地域の道路整備状況、古河警察署の移転なども質問)



支援機関の連携構築に向けた研修会



小泉 周司 議員

いばらき 自民党  
那珂市 選出

## 茨城県植物園等のリニューアルオープン後の県の関わり方、誘客、周遊性の向上等の取組

議員 11月29日にリニューアルオープンする茨城県植物園などについては、県央・県北地域の観光拠点として、周辺観光地との周遊性を向上させることが重要だと考える。知事の所見は。

知事 体験王国いばらきを象徴する観光の起爆剤として、インフルエンサーを活用したSNSなどの戦略的な情報発信や、旅行事業者に対し周辺地域も含めたツアー造成を働き掛けるなど、広域的な周遊観光の促進に取り組んでいく。



茨城県植物園完成イメージ図

## フュージョンエネルギー※1関連施設誘致の現状と今後の取組

議員 国は発電実証を2030年代に前倒しすると発表し、今後、原型炉※2の建設地検討などを進める。那珂市周辺に関連施設が集積されている優位性を生かすべくと考えるが、原型炉誘致に向け国に対し、どのように取り組むのか。

知事 原型炉の立地条件などの情報収集を積極的に進め、市町村への意向確認などの準備活動を進める。時機を逸することなく本県への設置を国に強く働き掛ける。

(ほかに、水郡線沿線の経済活性化、公文書館の在り方なども質問)



下路 健次郎 議員

いばらき 自民党  
東海村 選出

## 医療的ケア児を取り巻く環境の整備

議員 茨城県医療的ケア児支援センター「みちしるべ」とそれを支える人たちは、本県の医療的ケア児とその家族の希望の光である。県はその存在や活動をどう評価し、今後どのように支援していくのか。

福祉部長 「みちしるべ」により、本県の医療的ケア児の支援体制の底上げが着実に図られており、家族や関係機関から高い評価を得ている。県は、課題への対応に当たり調整困難な部分に積極的に関与するなど、活動を後押ししていく。



医療的ケア児支援センターみちしるべのイメージ

## 下水道管路の全国特別重点調査結果を踏まえた今後の対応

議員 国土交通省が発表した調査結果によると、本県では、原則1年以内の対応が必要と判定された下水道管路が、全国で2番目に長い。地域の住民の不安に寄り添いつつ、どう対策を進めていくのか。

土木部長 住民の安全・安心のため、要対策箇所対策が完了するまでの間、路面下空洞調査と路面巡視を定期的に行うとともに、対策の早期完了に全力で取り組む。

(ほかに、原子力発電と東海第二発電所への県民意識の変化、原子力の理解促進と広報なども質問)

## 「情報委員会」をオンラインで開催しました

委員会の円滑な運営や緊急時の対応力向上を図るため、7月7日、情報委員会をオンラインにて開催しました。今後もオンライン開催の技術習熟のため、定期的に実施していく予定です。



情報委員会(オンライン)の様子

## 「決算特別委員会」を開催しました

10月20日に委員会を開催し、一般会計・特別会計・公営企業会計における令和6年度決算の総括的な概要、決算審査意見のほか、県総合計画に掲げる政策・施策の進捗状況について説明を聴取した後、部門別審査を行いました。部門別審査では、公営企業会計について説明を聴取し、詳細な審査を行いました。

第3回定例会閉会後に委員会を開催し、一般会計および特別会計の部門別審査を行い、総括質疑、採決を行う予定です。

## 県議会ホームページをリニューアルしました

県民の皆さまにとって、より分かりやすく、利用しやすいものとするため、県議会ホームページを全面的にリニューアルしました。

スマートフォンやタブレットなどからも見やすいデザインに刷新し、ページ構成やナビゲーション機能も改善しました。

ホームページでは、これまでと同様、議員名簿、議会中継、議事録、会議情報、県議会の紹介、県議会への取り組み、傍聴・見学の案内などを掲載しております。

今後とも、県議会への理解と関心を深めていただけるよう、より充実した情報発信に努めてまいります。



リニューアルしたホームページ



## 常任委員会の審査から

### 営業戦略農林水産委員会

昨年度のロケ支援について、経済波及効果額が増加した要因は大型作品の誘致などにより、経済波及効果額が増加した

問 本県のフィルムコミッションのロケ支援実績について、令和6年度の経済波及効果が増加した要因とロケ地を活用した魅力発信の取り組みは。

答 昨年度は、宿泊を伴う大型作品の誘致などにより、経済波及効果額が増加した。引き続き、本県が舞台となる作品や全世界に公開する大型作品などを積極的に誘致し、ロケ地を活用したロケツーリズムまでの展開を目指したい。

問 本県における新たなコメの高温耐性品種の育成状況と今後のスケジュールは。

答 国の研究機関とも連携し、高温に強く、食味も良いなど

の特徴をもつ、3種類を品種の候補として育成中である。最短で令和10年度の品種登録出願を目標としている。  
(ほかに、茨城をたべよう収穫祭の開催目的と今後の展開、田んぼのダムへの推進に向けた理解促進など)



「プラトーさとみ」(常陸太田市)で開催したロケ地ツアー

### 総務企画委員会

霞ヶ浦導水の通水予定は来年度中に石岡トンネルが完成し、速やかに通水予定である

問 霞ヶ浦導水は、来年度から通水ができるのか。また、試験通水の段階から、塩分濃度の上しやすい時期に送水して効果を出してほしいが、所感は。

答 国からは、不測の事態がなければ、来年度中に石岡トンネルが完成し、速やかに通水を行う予定と聞いている。県としては、早期の事業効果発現のため、那珂川の塩分濃度が低い春先にも送水を行うよう、国に求めている。

問 県職員が全体の奉仕者という大前提の下、使命感のある人材の採用への取り組みは。

答 県職員としての使命感や役割を理解してもらうために



整備が進む霞ヶ浦導水事業の那珂樋管(水戸市)  
(国土交通省関東地方整備局提供)

インターンシップや出前授業を実施し、特に若手職員との意見交換などを通じて仕事の魅力ややりがい伝えていく。  
(ほかに、県北振興のための企業誘致などへの位置付け、鹿島セントラルビル事業譲渡後の運営状況なども質問)

### 土木企業立地推進委員会

道路整備時の防草対策の取り組みは防草タイプの縁石などを使用している

問 道路利用者の安全確保の観点から、道路除草は重要だが、限られた維持費での対応は困難だと考えている。整備時の防草対策の取り組みは。

答 現場状況にに応じ、道路整備時に防草タイプの縁石などを使用し、草が生えにくい製品を採用している。また、中央分離帯や法面などをコンクリートで被覆し、除草面積を減らす対策に取り組んでいる。

問 工業団地を整備し、企業誘致を進めているが、工業団地の売却益以上の効果を得る必要があると考える。企業誘致の具体的な効果は。

答 立地企業における雇用創



道路法面部の防草コンクリート

出、地域経済への波及効果として地元企業との取引拡大などの効果を見込んでいる。また、法人事業税や固定資産税などの税収増加が期待できる。  
(ほかに、新規立地企業の雇用調査、水道事業経営統合に向けた課題なども質問)

### 防災環境産業委員会

いばらき業務改善奨励金の現状と狙いは想定以上の申請見込みであり、持続的な賃上げにつなげていく

問 いばらき業務改善奨励金の申請状況は。また、設備投資が要件であり、経営が厳しい事業者は活用が難しいと考えるが、本事業の狙いは。

答 本年度の申請件数は、当初想定約1.8倍となる見込みである。経済の好循環を促すことが重要なため、賃上げに取り組む企業を支援し、生産性の向上を図ることで、持続的な賃上げにつなげる。

問 在住外国人が、孤立せず、日本社会に溶け込めるような、誰もが住みよい社会の実現に向け、どう取り組むのか。

答 「IBARAKIインターナショナルコミュニケーションサポー



多文化防災ワークショップ(土浦市)

ター」を通じ、日本のルールを伝えるほか、地域住民との懸け橋となることで、外国人との共生を図っていく。  
(ほかに、東海第二発電所の火災に係る報告書への受け止め、災害時外国人支援研修で把握した課題なども質問)

### 文教警察委員会

児童・生徒の不登校対策への取り組みは校内フリースクールの設置促進など、学ぶ場所を選べる体制づくりを図る

問 校内フリースクールの設置など、児童・生徒の不登校対策にどう取り組むのか。

答 校内フリースクールはさまざまなメリットがあり、市町村に設置を促していく。欠席が続く子どもへの相談できる専門家の紹介や、教育支援センターや民間フリースクールとの連携により、学ぶ場所を選べる体制をつくっていく。

問 違法なオンラインカジノによるギャンブル依存症を防ぐため、教育や福祉との連携も含め、どう取り組むのか。

答 茨城県依存症対策推進会議に参画し、医療機関や民間の関係団体などと連携して対



オンラインカジノの広告禁止に関する広報

策を講じているとともに、学生向けの非行防止教室を実施している。依存症の相談があった際は、相談窓口や自助グループなどを案内している。  
(ほかに、金属盗へのさらなる対策、公募校長の任期と評価の方法なども質問)

### 保健福祉医療委員会

職員側起因のカスタマーハラスメントに対するマニュアルでの対応は礼儀正しい態度や姿勢を強調。ハラスメントを生じさせない組織をつくる

問 ハラスメントは職員側への対応に起因することもあると考えるが、今回策定した県立病院のカスタマー対応マニュアルではどう対応するのか。

答 マニュアルでは、礼儀正しい態度や言葉遣い、患者に寄り添う姿勢などを強調した。これらを具体的な行動基準として、ハラスメントを生じさせない組織づくりをしていく。

問 「茨城を食べよう! 野菜パワーで未来を変える健康投資」キャンペーン



「茨城をたべよう! 野菜パワーで未来を変える健康投資」キャンペーン

キャンペーン参加の動機付けとして、常陸牛などのブランド肉も賞品に取り入れた。  
(ほかに、新県立病院における小児医療の在り方と先進事例を参考とした整備の検討、児童虐待件数の増加要因と解決のための方策なども質問)



予 算 特 別 委 員 会

● 質疑者

10月21日(火)



こちらから録画映像でご覧になれます。▶

高橋 直子 (いばらき自民党)

大足 光司 (国民民主党)

江尻 加那 (日本共産党)

櫻井 信幸 (茨城無所属・政策の会)

松田 千春 (いばらき自民党)

高崎 進 (公明党)

高橋 勝則 (いばらき自民党)

高橋直子委員(自民) 令和9年4月以降、居宅介護支援事業所の管理者は主任介護支援専門員※1であることが求められる。持続可能な事業所の体制づくりには、法定研修の受講要件の緩和などが必要だと考えるが、所見は。

福祉部長 現在、県内の835事業所のうち主任介護支援専門員が未配置の101事業所については、市町村と連携し対応していく。なお、法定研修の要件緩和については、他の自治体の動向なども参考に、慎重に検討していく。(ほかに、女性の所得向上と経済的自立の実現に向けた取組、小学校におけるフッ化物洗口の取組なども質疑)

大足光司委員(国民) Okukujij「X」※2や常陸国ロングトレイルなどの県北の地域資源を活用したアウトドアスポーツを今後どのように展開し、県北地域の観光振興や知名度向上などにつなげていくのか。

政策企画部長 Okukujij「X」の大会結果の検証や磨き上げを行うほか、トレイルに関連した滞在型ツーリズムの拡大や来訪者向けの商品開発の促進などを通じ、さらなる誘客や消費拡大

を図ることで県北振興につなげる。(ほかに、茨城DC※3のレガシーを活かしたプロモーションの展開、銘柄豚肉「常陸の輝き」なども質疑)

江尻加那委員(共産) 県は2月に、庁内ハラスメント防止対策強化を4点示したが、個人の尊厳を侵害するパワハラ防止の取り組みと知事の認識は。知事 パワハラは組織として厳に慎まなくてはならない。新たにハラスメン

ト防止基本指針を定めたほか、外部相談窓口を設置した。研修は対象者を拡大し全職員に実施した。職員への調査は適切な手法を検討していく。対策を徹底し、職員が能力を最大限発揮できる職場環境づくりを推進していく。(ほかに、茨城空港機能拡張計画と自衛隊百里基地ミサイル配備、地域医療

の確保と支援なども質疑)

櫻井信幸委員(茨無会) 健康寿命延伸のための「スロー筋トレ・筋肉調整」の普及促進についての所見は。

保健医療部長 健康寿命のさらなる延伸には、筋力トレーニングを含めた運動習慣の定着も不可欠と認識しており、運動の習慣化などを明記した健康長寿チェック表を広く県民に周知して普及啓発を図っている。筋力トレーニングには多様な種類があり、自分に合った方法を選択できるよう、スロー筋トレに限らず筋力トレーニングを含めた運動習慣の定着促進に取り組んでいく。(ほかに、動物指導センターの施設改善、食の安全の確保なども質疑)

松田千春委員(自民) 医療施設等経営強化緊急支援事業は、病床を減らした医療機関を支援するものだが、病床の維持が重要ではないか。地域の医療機関への経営支援の進め方は。

保健医療部長 本事業は、医療機関が病床を適切な規模にダウンサイジングし、中長期的に質の高い医療を提供し続ける体制へ転換を促すものと考ええる。政策医療を担う医療機関への運営費などの補助や国の経済対策の活用により、医療提供体制を維持していく。(ほかに、訪問介護事業所に対する今後の支援、市町村の下水道事業に対する支援なども質疑)

高崎進委員(公明) 地域経済の基盤を支える中小企業などの人手不足解消は不可欠である。近隣他県では、奨学金返還支援を行う企業への補助の取り組みが広がっている。本県も支援策を講じてもらいたいと考えるが、所見は。

知事 売り手市場の今、企業自身が魅力ある職場となることが求められている。奨学金返還支援を行う企業への補助事業については、整理すべき課題はあるが、企業における人材確保は喫緊の課題であることを踏まえ、今後、実施する方向で積極的に検討していく。(ほかに、大規模災害への対応、難病患者への支援なども質疑)

高橋勝則委員(自民) 古河市大堤地区においては、古河市が(仮称)古河市新公会堂などの開発を計画しており、さらなる交通需要が見込まれる。まずは、市が検討を進めることが重要だが、開発工程に合わせた道路整備の推進に向け、どう市を支援していくのか。

土木部長 古河市が実施している施設規模の検討などを踏まえ、開発工程に合わせた道路整備に向け、ルート検討などについて協議を進める。市の意向を聞きながら、県としてどのような支援ができるか、引き続き検討していく。(ほかに、熱中症対策、自然災害への対応なども質疑)

県議会を傍聴しませんか

県議会の本会議は、どなたでも傍聴することができます。

県民の皆さまにより選出された県議会議員がどのようなことを審議しているのか、目の前でご覧いただける貴重な機会ですので、ぜひお気軽にお越しください。

なお、本会議の傍聴を希望される方は、県議会議事堂5階の受付で住所と氏名を記入すると傍聴できます。

その他、団体での傍聴や常任委員会の傍聴などの詳細については、県議会事務局議事課までお問い合わせください。



本会議場の傍聴席

〈児童や乳幼児をお連れでの傍聴について〉

- ・親子席を用意しております。
- ・授乳室やおむつ替えスペースをご希望の方には、部屋をご用意いたしますので、職員にお気軽にお声掛けください。
- ・県庁内保育所や議事堂近隣の民間保育所での託児サービスも行っております(託児サービスのご利用には、事前申し込みなどが必要です)。

お問い合わせ先  
(傍聴に関すること)  
議会事務局議事課  
電話029・301・5634



※傍聴の詳細は県議会ホームページを  
ご確認ください。

(託児サービスに関すること)  
議会事務局総務課  
電話029・301・5613



※託児サービスの詳細は県議会ホームページを  
ご確認ください。

次回の、令和7年第4回定例会は、11月28日から12月15日までの18日間の会期日程で開催される予定です。

月日	曜	議 事 予 定
11.28	金	議会運営委員会、 本会議(開会、知事提出議案説明)
29	土	
30	日	
12. 1	月	休会(議案調査)
2	火	休会(議案調査)
3	水	議会運営委員会、本会議(一般質問・質疑)
4	木	本会議(一般質問・質疑)
5	金	本会議(一般質問・質疑、議案常任委員会付託)
6	土	
7	日	
8	月	休会(委員会審査準備)
9	火	休会(常任委員会)
10	水	休会(常任委員会)
11	木	休会(未来を拓く新たな茨城づくり調査特別委員会)
12	金	休会(議事整理)
13	土	
14	日	
15	月	議会運営委員会 本会議(委員長報告、採決、閉会)